

シンフォニー

特集1

ワーク・バラライフ?

バランス

2P・3P

ワーキングマザーの一日
ケアメン(介護男性)の一日

特集2 シンフォニーの今と昔 4P

特集3 姉妹都市提携企画 5P

郡山市男女共同参画推進週間報告 6・7P

男女共同参画課からのお知らせ 8P

シンフォニー(交響曲)には、みんなの声を響き合わせたいという思いが込められています。

vol. 43
2015.Autumn



【ワーク・ライフ・バランスとは】

「ワーク・ライフ・バランス」とは、人生の各段階において、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など様々な活動について、自らの希望に沿った形でバランスを取りながら展開できる状態をいいます。今回は育児に介護に忙しい毎日を通すお二人にインタビューをしました。

ワーク・ライフ・バランス

ワーキングマザーの一日
佐藤由香里さん（鶴見坦）



娘・芽衣ちゃんと▲



ママは、その後起きて家事。時々疲れて眠っちゃうことも…。

6:00	起床
7:00	ご飯・お弁当の準備
7:40	家を出る
8:00	保育所に送っていく
9:10	勤務先である学校に到着
15:15	職場を出る
16:30	保育所に芽依ちゃんのお迎え
18:00	ママ帰宅。その後パパも帰宅
19:30	家族みんなで夕食
20:00	お風呂
21:30	就寝

芽依ちゃんはおじいちゃん、おばあちゃんと遊びながらパパとママを待ちます。

Q 子供が生まれたこと

ママは、その後起きて家事。時々疲れて眠っちゃうことも…。
A 現在は、担任のクラスを持っていません。子育てをしながら、担任を持っている先輩もいるので、バリバリと働きたいという気持ちもあるのですが、自宅から学校まで遠いのが悩みです。

Q 育児と仕事との両立での悩みはありますか？

A 私は、市外の高校で英語を教えていて、夫も教員です。現在、通勤には、1時間半ぐらいかかっていますが、部分休業制度（※）を利用して朝は9時15分から16時15分までの勤務にしています。娘の芽依は3才になりました。夫の父親と同じ居ており、相双地区に住んでいた私の両親も現在近くに住んでいます。※正規の勤務時間の始め又は終わりに1日2時間を上限に育児時間を取得できる制度。

Q 由香里さんとご家族のことを教えてください。

A 私は、市外の高校で英語を教えていて、夫も教員です。現在、通勤には、1時間半ぐらいかかっていますが、部分休業制度（※）を利用して朝は9時15分から16時15分までの勤務にしています。娘の芽依は3才になりました。夫の父親と同じ居ており、相双地区に住んでいた私の両親も現在近くに住んでいます。※正規の勤務時間の始め又は終わりに1日2時間を上限に育児時間を取得できる制度。

で、仕事への良い影響がありましたか？

A 独身の頃、女性の先輩に「子どもを産んだ後では子どもの見え方が違う。」と言われたのですが、今、そのことが実感としてわかり始めました。保護者の気持ちまで想像できるようになり、生徒の気持ちにも寄り添えるようになりました。

Q 生活の中で工夫している点はありますか？

A 朝は夫が手伝ってくれます。私が朝食とお弁当を作っている間に、お風呂を洗って、ごみを出して子どもを着替えさせてくれます。これが一番ありがたいです。

Q 周りの方にどういった声をかけてもらえるとうれしいですか？

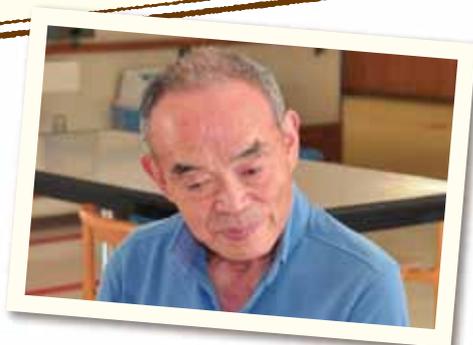
A 子育ての苦労を共感してもらえると「ありがたいな。」と思います。先輩、同僚の皆さんの協力にとっても感謝しています。同じぐらいの子を持つママと話をすると気が楽になります。



ケアメンの一日

(介護男性)

伊藤博行さん (日和田)



体調や季節によってマイペースに行っています

5:00 起床 ジョギング

10:00 入院中の母の付き添い

14:00

15:00 買い物

16:00 帰宅

17:00 家事等

23:30 就寝

CDを聞いて気分転換

Q 伊藤さんと御家族のことを教えてください。

A 子ども3人は独立しています。平成9年に妻を亡くしてからは、現在98歳の母と二人暮らしです。二人の生活を心配する娘は、よく電話をかけてきてくれます。

Q 一人で介護をすることは大変ではないですか？

A 母は、杖をつきながら歩くことができるので、今まではお風呂の補助をするぐらいでした。ただ、母が寝たきりになってしまったらどうしよう、自分も体調を崩したらどうしようと考えたら不安になります。

Q 介護と仕事や趣味とのバランスをどうしていますか？

A 以前は、母も身の周りのことが自分でできたので、退職後も再就職をしていました。母から「仕事を辞めてほしい。」と頼まれた時から、主に掃除や食事は私がやるようになりまし。最近までは母に留守番をしてもらって、一泊で山登りに

出かけたり東京や仙台までクラシックコンサートを聴きに行ったりしていました。

Q 充実している時間はどんな時ですか？

A 毎朝5km走っているジョギングや山登りの時間が自分にとっては大切な時間です。音楽も好きなので、家でCDを聴いたりラックスしています。山登りは最近なかなか行けなかったのですが、また行きたいと思っています。

Q 介護に対する思いを聞かせてください。

A 自分自身、子どもにも迷惑をかけたくないと思っています。母には出来るだけのことをしてあげたいと考えています。母の介護を続けることは、制約のある生活ですが、介護サービスを利用することで自分の時間を上手に見つけていきたいと思いますね。



母・タツコさんと▶



インタビューを終えて

(市民編集委員)

●ワーキングマザーの一日

仕事のことや育児のことを生き生きと話して頂きました。ご主人をはじめ、おじいちゃん、おばあちゃん、家族全員がそれぞれにできることを担当して応援してくれていることが、佐藤さんの元気の源でした。

「職場の理解や保育所の切実な対応に感謝しながら、これからも肩ひじを張らずに仕事と育児を両立していきたいです。」と答えて頂きました。

素敵なお話をありがとうございました。

●ケアメン(介護男性)の一日

「介護をしていることは、子供として当たり前のことをしているだけで特別なことをしているのではない。」と淡々とお話をしていたら、変わった姿に、「これが男女の別なく、自然の姿なのかな。」と時代の変化を感じました。

介護と自分の時間の両立もこれからの社会の課題だと思いました。

シンフォニーの今と昔

みなさん、お蔭様で、「こおりやま男女共同参画情報紙・シンフォニー」が今年で20年を迎えました。御愛読本当にありがとうございます。そこで、この20年間の主な特集を紹介し、時代を振り返りたいと思います。

1995.1
シンフォニー誕生



第1号
1995.1 発行
創刊。



第2号
1995.3

ボランティア
編集委員の
募集開始。

第5号

1995.10

「シンフォニー」に決定。
シンフォニーは、
交響曲として当時の
表紙のイメージから
決まりました。

第3号

1995.9

6名のボランティア
編集委員決定。
紙名愛称募集。

第10号

1998.10

2003年までに
実施される
県立高校の男女共学に
ついて特集。

第18号

2002.10

郡山市男女共同参画センターの愛称が
「さんかくプラザ」に決定。
「さんかく」には、市民・地域・
行政の三者がトライアングル
(三角形)の関係で、対等・協働に
まちづくりを進めていくという
意味で名付けられました。

FIFA ワールドカップ
日・韓国同時開催



第19号

2003.3

郡山市男女共同
参画都市宣言
(2002.12.7) の紹介
この年1月はじめて
男女共同参画
フェスティバル
開催される。

第20号

2003.8

2003.4月施行の
郡山市男女共同
参画推進条例を紹介。

第26号

2006.10

市内3大学に
よる男女共同参画
座談会特集。

第42号

2015.4

郡山女性活躍推進事業を
特集。



※2011.3.11
東日本大震災

第36号

2012.4

震災・復興と
男女共同参画の
記事を特集。

第33号

2010.4

4月策定の
第二次こおりやま
男女共同参画
プランの紹介。

シンフォニーが20年
続いたのは、郡山の皆さんの
ご協力のおかげです



初代リポーター石澤洋子さんにお会いして



石澤さんは、「家庭に入っても即戦力でありたい、社会とつながっていたい。」という気持ちが強かったこともあって、初代リポーターに応募してくださいました。リポーターをする前には、大きな手術をしてどん底まで落ち込んでいたのを、「上がるしかない。」と気持ちを切り替えたそうです。現在も、ボランティアだけではなく趣味の水彩画や手芸を楽しむ多忙な日々を送り、ますます輝き続けている素敵な女性でした。



石澤さんと親交がある現在のリポーターの安藤さんと吉田さんがご自宅にお邪魔しました!! ▲

姉妹都市提携企画

今年は、姉妹都市の久留米市とは 8 月 3 日に提携 40 周年、鳥取市とは 11 月 25 日に提携 10 周年を迎えます。ご縁のある女性たちから応援メッセージをいただきました。

久留米市 提携40周年

久留米市

九州一の大河筑後川が貫流し、南側に耳納連山みのうが広がり、豊かな自然に恵まれた久留米市とは、「安積開拓」の縁で 1975 年（昭和 50 年）に姉妹都市として提携しました。

東日本大震災で被害を受けた郡山市のために、義援金・物資の支援のほかに、職員派遣など長い間応援をしてくれています。

震災後の平成 24 年 4 月から 1 年間、応援職員として勤務した夫の後藤徹也さんと一緒に来郡したゆかりさん。「震災の後の郡山に来ることは、心配ではなかったですか？」と思い切って質問すると「郡山市を応援する夫と一緒にがんばりたいと考えていました。両親も快く送り出してくれましたよ。」とにっこり。今も、遠い九州から見守り続けてくれています。

「美しい自然、美味しい食べ物、そして優しく温かい人達。一年間住んだ郡山は思い出深く大好きな土地です。郡山市にも女性の友達がたくさんできて、今でも連絡をとりあっています。郡山の女性は皆元気ですね！」

▶久留米市キャラクター「くるっば」



▶後藤ゆかりさん



鳥取市 提携10周年

鳥取市

日本一の砂丘を有し、県都・観光地として栄えている鳥取市とも、「安積開拓」にまつわる発見が縁で 2005 年（平成 17 年）に姉妹都市として提携しました。明治時代に入植した鳥取士族の資料は、焼失したと思われていましたが、平成 7 年に鳥取女子高校（現：鳥取敬愛高校）の皆さんにより奇跡的に発見され、両市の交流が深まる大きなきっかけとなりました。

▶郡山駅前広場に設置されていた砂像（郡山采女伝説）



◀鳥取市キャラクター「SUGOIUSAGI」

鳥取女子高校（現：鳥取敬愛高校）時代に社会部部长として活躍をした奥村寧子さん。3 年生の時には、「鳥取士族の安積野開拓移住」のレポートで「第 42 回全国学芸科学コンクール」の文部大臣奨励賞を受賞しました。現在、1 児の母・鳥取市あおや郷土館学芸員として忙しい奥村さんですが、今も郡山を思い続けてくれています。

▶奥村寧子さん（息子の暁ちゃん）



「訪れるといつも温かく迎えてくださるご子孫の皆さま。なんだか心がホッとする、そんな郡山の人びと、郡山の空気が大好きです。」

郡山市 男女共同参画推進週間報告

6/23(火) - 6/29(月)

会場 郡山市男女共同参画センター（さんかくプラザ）

地域力 × 女性力 = 無限大の未来

◀平成27年度内閣府選定
キャッチフレーズ

本市では、毎年6月の1週間を「男女共同参画推進週間」とし、各種イベントを実施しております。今年も、市民の皆様にも男女共同参画に関する理解を深めていただき、自主的な取り組みを推進するため、各種イベントを開催いたしました。

市民自主企画イベント

スクエアダンスで脳トレ?!

- 開催日／平成27年6月24日(水)
- 実施団体／あさかの学園スクエアダンス同好会



歴史の中の男の生きざま

- 開催日／平成27年6月26日(金)
- 実施団体／まなびの会



“Let it go”ありのままの～豊かなコミュニケーションに必要なこと～

- 開催日／平成27年6月26日(金)
- 実施団体／性について語る会 ラシクの会



スクエアダンスで脳トレ?!

- 開催日／平成27年6月27日(土)
- 実施団体／郡山スクエアダンスクラブ



学習会「何を怖れる～フェミニズムを生きる女たち～」

- 開催日／平成27年6月27日(土)
- 実施団体／NPO法人市民メディア・イコール



記念講演会 『フラガール物語』



- 日時／平成27年6月28日(日) 13時30分～15時
- 講師／神田 香織さん〈講談師〉



▲菅野副市長あいさつ



【講師プロフィール】 神田 香織さん〈講談師〉

映画「フラガール物語」を男女共同参画の視点から講談いただきました。神田さんは、いわき市出身のため、フラガールが誕生した理由や、その時代の女性達が炭鉱の男性達と元気に渡り合い、成功に導いた様子を丁寧に語ってくれました。華やかな着物を身に着け優しく穏やかな印象の神田さんですが、壇上に上がると一転、朗々とした声とテンポ良い“はりせん”の音が響き渡り、内容が映像で映し出されたような迫力ある語り口でした。ユーモアあふれる神田さんのお話により、会場の方々も聞き入っていました。

第12回 男女共同参画川柳コンクール表彰式

●平成27年6月28日(日) 13時～13時30分

平成27年4月1日(水)から平成27年5月11日(月)まで、市内在住・在勤・在学の方を対象に、「男女共同参画」に関する川柳を募集したところ、1689句もの応募がありました。
優秀作品は、郡山市男女共同参画審議会及び郡山市川柳協会の御協力のもと、審査委員会の厳正な審査により選考したものです。たくさんの方の御応募ありがとうございました。



▲受賞者の皆さん



▲中学生の部 高木さん



▲小学生の部 中山さん

応募総数

一般の部: 74句
小学生の部: 910句
中学生の部: 153句
高校生の部: 497句
親子の部: 55句
応募総数 1,689句

優秀作品

学校賞	親子の部				高校生の部			中学生の部				小学生の部					一般の部								
	入賞	特別賞	優秀賞	最優秀	入賞	特別賞	優秀賞	最優秀	入賞	入賞	特別賞	優秀賞	最優秀	入賞	入賞	特別賞	優秀賞	最優秀	入賞	入賞	特別賞	優秀賞	最優秀		
郡山市立日和田小学校 郡山市立高瀬中学校 郡山市立湖南中学校 帝京安積高等学校	毎度あり手なれラーメン父の技	あれ、それと父母には解かる代名詞	家事育児ほくも夢みるパパエプロン	我が家では父の味だよお味噌汁	おむつ替えとまどう父親あこがれる	低い台父は背丸め皿洗	休日も家で働く主婦と主夫	家事育児やれば深まる家族の和	家事をして主夫きどつてるお父さん	僕の家家族みんなで支えてる	お兄ちゃんモテたいと料理する	主夫デビュー慣れぬ仕事に任せてこま	おはようと言ってエプロンつける父	両親のつかれをいやすのほくの役	父の日にエプロン買ってプレゼント	父ちゃんの作るりようりは星五つ	「手伝って」言われなくてもボクやるよ	何のキャラ? パパが作ったおべんとう	男女の輪みんなでつなげばこわれない	「おねがいね」まほうの言葉でイクメンに	主婦休み任せて今日は僕がシェフ	おいしいねその一言にはずむ父	児を抱いて夫が妻を送り出す	ありがたうのキャッチボールが生む笑顔	母の味ひと超え父の具沢山
郡山市立日和田小学校 郡山市立高瀬中学校 郡山市立湖南中学校 帝京安積高等学校	郡山市立赤木小学校(6年) 堀田 不同・渡邊 文樹	郡山市立小山田小学校(6年) 大内 駿弥・大内 万里	郡山市立小山田小学校(6年) 船橋 美夢・船橋 修	郡山市立日和田小学校(3年) 橋本 彩乃・橋本 曉子	帝京安積高等学校(1年) 酒井 弘人	福島県立郡山商業高等学校(3年) 波邊 莉央	帝京安積高等学校(1年) 七海 叶	帝京安積高等学校(3年) 酒井 龍也	郡山市立高瀬中学校(3年) 芳賀 柁平	郡山市立高瀬中学校(3年) 菅家 誠史	郡山市立高瀬中学校(3年) 田村 葵	郡山市立高瀬中学校(3年) 芳賀 雪奈	郡山市立湖南中学校(3年) 高木 真奈佳	郡山市立日和田小学校(6年) 鈴木 大登	郡山市立桃見台小学校(6年) 菊池 祥一郎	郡山市立日和田小学校(3年) 富岡 侑大	郡山市立日和田小学校(3年) 大越 奏太	郡山市立赤木小学校(6年) 高林 聖寛	郡山市立日和田小学校(3年) 安齋 かりん	中山 美月	鈴木 裕之	山田 茂夫	佐藤 彰宏	須藤 利映	

※学校賞は、授業等を通じて男女共同参画について考える機会を設け、多数の作品を応募した学校に授与します。

(敬称略、五十音順)

展示



- ①「女性のための電話相談ふくしま」から見える 福島の女性たち ～わたしたちの活動報告～
NPO法人ウィメンズ・スペースふくしま
- ②NGOピースポート 地球一周の旅、
海外派遣帰国報告(ベルギー・ドイツ)
(一社)国際女性教育振興会福島県支部県中地区
- ③平成26年度活動報告
福島県磐青の会郡山支部

男女共同参画課からのお知らせ

男女共同参画 推進事業者を表彰します!



▲平成26年度郡山市男女共同参画推進事業者

- | | |
|--------------|------------------|
| ◆社会福祉法人笑風会様 | ◆株式会社東邦銀行様 |
| ◆せいの内科クリニック様 | ◆株式会社二嘉組様 |
| ◆高柳電設工業株式会社様 | ◆株式会社パソナ パソナ・郡山様 |
- (奥:左から) (手前:左から)

郡山市では、男女がともに働きやすい体制の整備や環境づくりに積極的に取り組んでいる事業者を募集し、表彰しています。受賞者は、平成28年3月開催予定の第14回郡山市男女共同参画フェスティバルにおいて表彰するとともに、市の広報、ウェブサイト等で紹介します。ぜひ、ご応募ください。

次のような取り組みを行っている事業者

- ①男女の人権に配慮し、男女がともに働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる。
- ②女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる。
- ③家庭生活とその他の活動との両立支援に積極的に取り組んでいる。
- ④その他男女が共同して参画する社会づくりに積極的に取り組んでいる。

対 象

市内で営利・非営利を問わず事業活動を行っている事業者。

応募方法

所定の応募用紙を10月30日(金)までに男女共同参画課へ提出してください。応募用紙は、男女共同参画課や男女共同参画センター(さんかくプラザ)等に備えてあります。また、市ウェブサイトからもダウンロードできます。

みんなで築こう人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 育てよう
思いやりの心～

皆さん、人権擁護委員さんをご存知ですか?

人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けて、地域の皆さんからあらゆる人権についての相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済を行うなど、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような活動を行っています。

郡山市では、19名の人権擁護委員の方々があり、幼稚園や小中学校等で人権教室の開催や、命の大切さや思いやりの心の大切さに対する理解を深めてもらうための活動をしています。

人権問題に対してお困りのときは、各地域の委員さんにお気軽にご相談ください。相談日時は、毎月広報こおりやまに掲載しております。

「いのちと人権を
尊重するまち郡山」
をつくりましょう!



▲人権教室の様子

詳しくは、福島地方法務局郡山支局まで、お問い合わせください。(TEL.024-962-4500)

「男女共同参画」を目指す拠点施設

郡山市男女共同参画センター

さんかくプラザ

●主な施設
研修室・集会室・
交流室・会議室・
和室・調理実習室

●利用時間
午前9時～午後9時
●休館日
毎月第3日曜日
及び年末年始

さんかくプラザでは、学習や交流、情報収集、相談などができますので、どうぞご利用ください。
〒963-8876 郡山市麓山二丁目9番1号
TEL 024-924-0900 FAX 024-924-0904
E-mail sankaku@bunka-manabi.or.jp



この印刷物は、環境にやさしいFSC®認証紙と植物油インキ、UDフォントを使用しています。紙ヘリサイクル可。